



持続可能な世界 には 人類の成長

心
あ
つ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

NMCAA
NO3

新型コロナウイルスにより、地球環境の在り方を問われている私達ですが、SDGsを理解している人の割合が最も低いのは日本という事です。SDGsとは、持続可能な開発目標のことで、貧困や飢餓、教育、技術革新、エネルギー、気候変動などを2030年まで解決しましょうと国連が決めました。

nsimpleshowjapanという解説動画を専門に制作する株式会社かわかりやすい動画を作ってくれています。社会貢献の観点から二次利用がOKということですが、知識の格差がなくなれば、世界はもっと良くなる」をビジョンに掲げているそうです。約3分半という短い時間で、SDGsとは？から、自分のようなビジネスマンには関係ないの？という疑問に答える感じで作られていて、最後はワクワクになる内容です。知識の格差において、日本は下の方にいるのは、残念ですが、こうやって頑張ってくれている会社が

あるのはうれしいです。3月21日放送のBS1スペシャル「ウイルスVS人類、未知なる敵と闘うために」で国立環境研究所首席研究員で「アニ先生」として知られる五箇公一先生が、

「新型コロナウイルスの遠因は気候変動。それを引き起こしているのは、南北格差から始まる経済格差を埋めようとする中での工業発展という、そういったものが途上国ですごい勢いで、かつての先進国以上に速い速度で起きています。そうすると、”生物多様性のホットスポット”と言われるエリアの真ん中で今回のようなことが起きる。開発と破壊、森林伐採といったことが急速に進む中、そこに閉じ込められていたウイルスたちが、新たな住処として人間を見つけ、それが南から北の人口密集地に入り込むという図式が、

1980年代以降からずっと続いているのだ。気候変動を起こしている開発とそういったグローバル化というものに、実はウイルスがすごい勢いで便乗してきている。その時、大きな課題は南の国々が森を切らなくてもいいようにするにはどうしたらいいか？」ということなのに、未だ世界はそのゴールには到底

辿り着かない。今回の問題はそのしつぱ返しと言えらるだろう」と言っていたそうです。今までは世界とか地球とかの視点が乏しかったけれど、今ほど、人類の成長がせまられていた時はないと思いましたが、自分の成長、企業の成長はもうやってきたので、ここからの人類の成長は、自分以外を思いやることで、規模を大きくすることだと思えます。家族友達を超えて、世界、地球ということだと思えます。大気も海も自分のところだけがきれいではありません。

参照 [a l t e r n a t i v e n e w s](#) オンライン、時事ドットコムニュースより「『ビジネスマン向けSDGs解説動画』」
<https://youtubebekw.com>